

発 表 課 題 一 覧

《森林技術部門》

番号	発表開始 予定時刻	課 題 名	森林管理局等	概 要
1	10:00	転石固定工による落石防止対策について	北海道森林管理局 後志森林管理署	転石被害の防止対策として、既存の工法では施工困難な現地条件を考慮し、ワイヤーロープをリング状に組立て斜面を覆う工法を検討
2	10:20	スギ超長伐期林分における収穫予想表の調製に向けた取組	東北森林管理局 計画課 ほか	高齢級人工林の施業モデルの構築や収穫予測に資するため、高齢級人工林の現況や施業履歴の調査と考察。
3	10:40	国有林野事業における携帯型GPSの精度と活用方法に関する考察	東北森林管理局 山形森林管理署最上支署	携帯型GPSの測位結果とGIS基本図との誤差等及び森林内での測位の特性を調査し、業務への活用方法について考察
4	11:00	亜高山帯風衝地の崩壊法面における自生植生を利用した植生回復の取組について	関東森林管理局 日光森林管理署 栃木県 大田原土木事務所 東電設計(株)	亜高山帯の急傾斜風衝地帯において、国・県等が連携して、自生植物を利用し極力自然素材を活用した植生回復の工法等を検討
5	11:20	木材の安定供給体制に対する民有林・国有林の取組について	関東森林管理局 群馬森林管理署 群馬県 藤岡環境森林事務所	群馬県産材センターを核とした木材の安定的供給体制の構築のため、民有林と国有林が連携した取組を報告
6	11:40	地域に適応した路網整備を軸とする低コスト作業システムへの取組	中部森林管理局 森林技術センター	「低コスト作業システム」を緊急な課題と位置づけ、中部地域への導入及び普及に向けた取組を紹介
7	13:00	伊崎国有林における自然再生に関する取組 －カワウによる森林被害対策－	近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター 滋賀森林管理署	カワウの営巣等により、森林被害が拡大している琵琶湖に面した伊崎国有林において、被害拡大防止及び自然再生の取組方向について考察
8	13:20	天然林におけるスギ天然更新技術の開発について（経過報告） ～ヤナセスギ天然更新試験地におけるスギ稚樹の成立過程～	四国森林管理局 森林技術センター	スギの天然更新は難しいといわれている中で、四国を代表するヤナセスギの天然稚樹発生・生育状況と光環境等の関係について考察
9	13:40	高密度作業路網の状況調査について	四国森林管理局 四万十森林管理署	高密度作業路網について、作設後3年目の状況を調査し、設計・施工の問題点を検証
10	14:00	針広混交林の試植検定林の設定	九州森林管理局 森林技術センター	タブノキ家系を用いて系統別スギ精英樹との試植検定林を設定し、針広混交林の造成に適した優れた品種を解明するとともに競争効果を考察

番号	発表開始 予定時刻	課 題 名	森林管理局等	概 要
11	14:20	スギ人工林材の島外出荷に関する取組について	九州森林管理局 屋久島森林管理署	充実しつつある屋久島の人工林資源の有効活用を図るため、初めて島外出荷を実現した取組を紹介し、今後の課題等を考察
12	15:10	簡易丸太柵工の開発 —間伐木及び風倒木の利用拡大に向けて—	近畿中国森林管理局 森林技術センター	林道・作業道等における崩壊箇所の復旧に、現地で調達できる風倒被害木を利用した施工が容易な丸太柵工等を開発
13	15:30	森林管理におけるハチ誘引捕殺器の功罪について —より効率的な設置を目指して—	近畿中国森林管理局 三重森林管理署	ペットボトルを利用したハチ誘引捕殺器について、正負、双方の効果を検証し、有効な使用方法を考察
14	15:50	スギ若齢人工林のヒバ混交林への誘導について	東北森林管理局 森林技術センター	ヒバの天然更新がみられるスギの生育不良地において、両樹種の地形等に対する適性を検証し、混交林へ誘導するための手法を考察
15	16:10	高齢級人工林のモニタリング調査	関東森林管理局 森林技術センター	長伐期施業のモデルとなるような高齢級人工林の現況や施業履歴等のモニタリング調査についての報告